

恭賀新春

昨年は、1月下旬の寒波、7月の中国地方の豪雨、9月の北海道の地震など、多くの自然災害が続き、地球規模の気候変動を驚きをもって感じる一年でした。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本年は、春には元号も変わり、日本も時代も大きく変化する節目のときであることを感じます。私自身もその変化を受けとめ、新たな時代を拓いてゆきたいと願っています。

くまがい眼科も、皆様の健康をお守りし、医療を通して元気に長生きしていただくお手伝いができますよう、スタッフ一同心を合わせてまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

2019年・新春
くまがい眼科院長
熊谷和久



院長の紹介 1953年熊本市に生まれる。1977年熊本大学医学部を卒業後、大学病院・市民病院で眼科診療に従事。1987年に上京し、眼科診療の傍ら、西洋医学と東洋医学を融合した「タニクリニック」で学び、中医学(中国伝統医学)の中心「北京中医学院」に留学し、東洋医学を研鑽。1992年、当地駒込にて眼科クリニックを開業。現在は豊島区の中学校1校・小学校2校・幼稚園7カ所の眼科校医・園医も勤めています。中医学に加えて、「日本胎盤臨床医学会(プラセンタ治療を志す医師の会)」、「ボトックス治療専門医」や「抗加齢医学(アンチエイジング)専門医」などの資格も取得し、プラセンタ治療の緑内障への応用など新しい治療法を取り入れている。これからの医療のあり方を模索している「トータルライフ(TL)医療研究会」にも所属しています。



閉塞隅角緑内障

へいそくぐうかくりよくないしょう

房水（眼球を満たす水）を排出する隅角という部分が狭くなって閉塞すると、眼圧が急激に上がり、激しい痛みを伴う緑内障発作を起こし、放置すれば失明することもある急性の眼疾患

一般に「緑内障」と言えば、

もうひとつの緑内障？

ゆるやかに進む開放隅角緑内障の

ことですが、閉塞隅角緑内障は、房水が排出される隅角という場所がもともと狭い人が、散瞳などで瞳孔ブロック（図参照）を起こして始まる急激な眼圧上昇を発症するタイプの緑内障のことです。短期間で失明することもあり緊急の治療が必要です。同じ「緑内障」という名前が付いていても、全く別の病気と言ってもいいくらい性質の違う眼科の急性疾患の一つです。

普段は正常眼圧（通常10～20mmHgを指す）

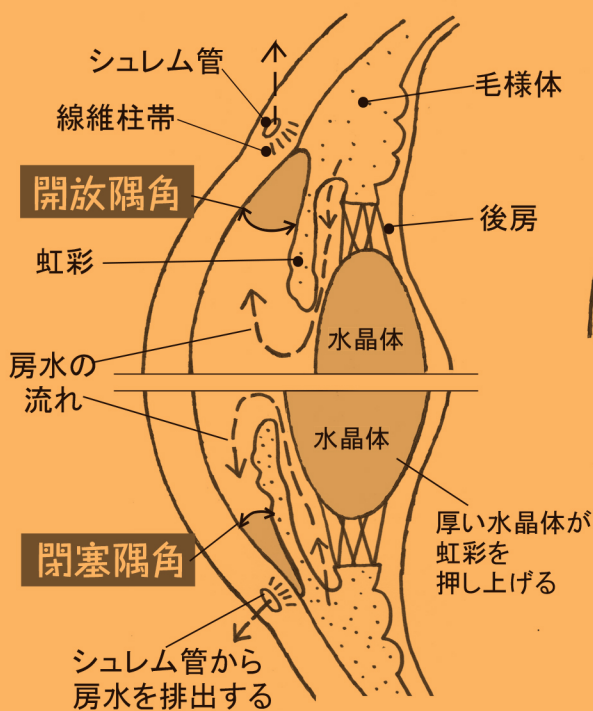
の方が突然に40～60mmHgの眼圧に急上昇

して激しい症状を引き起こす。発作を起こした側に、

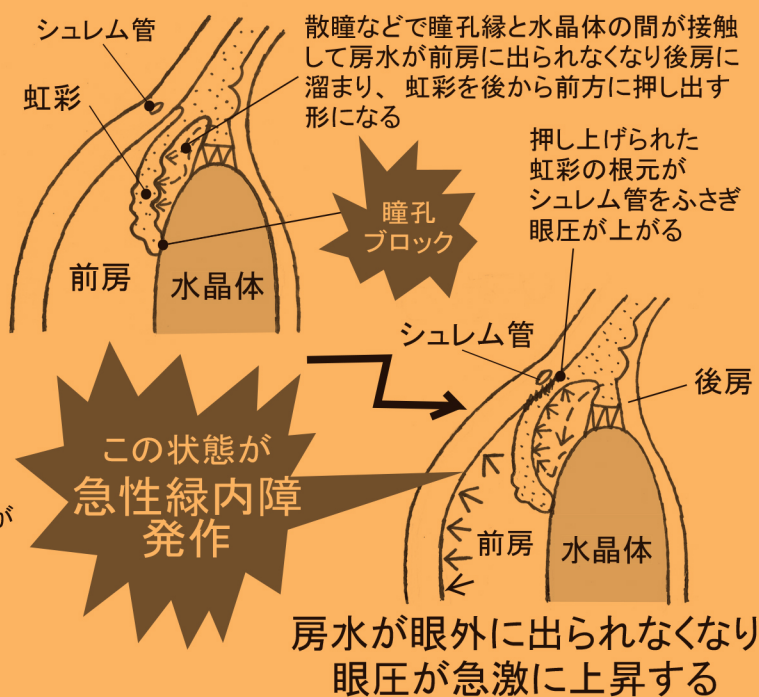
転げ回るくらい痛い目の痛み・頭痛も起きます。白目は充血しボーとした見え方になり、場合によっては吐き気や嘔吐を伴うため、お腹の病気と考えて内科に受診をされる患者さんもおられ、眼科の治療が遅れてしまうこともあります。

急性緑内障発作

開放隅角と閉塞隅角

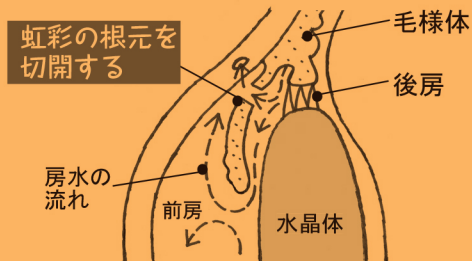


急性緑内障発作はどのようにおこるか？



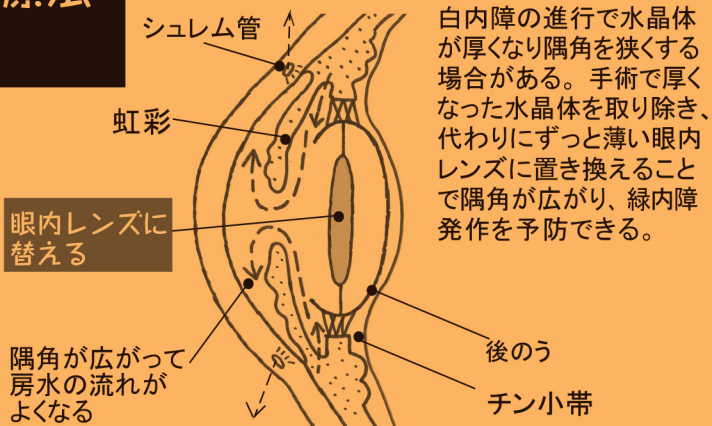
ヤゲ・レーザーによる虹彩切開

縮瞳剤点眼によって、シュレム管をふさぐ虹彩の根元を引き伸ばし、そこにヤゲ・レーザーで穴をあけることによって、前房と後房の間に房水の通り道をつくり、瞳孔縁と水晶体の間を通らなくてもシュレム管に房水が流れる。



治療法

白内障手術



肩こりが消えた!

昨年のくまがい眼科通信・新春号(第16号)で当院のプラセンタ治療の効果について種々の疾患別に触れました。その中で、「肩・首の痛み」については、「即効性もあり、明らかな改善を自覚できる場合が多い」と記載しましたが、その後「肩こりが完治した」と思われる方が現れました。

これまで、肩こり・首の痛みについては、私自身も悩んでいることから、興味を持って研究してきました。葛根湯を主成分とした“感冒散”(私が東洋医学を師事した、故・谷美智男先生が考案された漢方のレシピ)も効果がありますし、肩・首の痛みのツボである肩井(けんせい)や天柱(てんちゅう)などへの鍼治療も効果があることはわかっていましたから、プラセンタ液をこれらのツボに注射すれば、より効くだろうという予想はありました。しかし私の実感としては、「どの治療であっても、軽減はしても『完治』は困難だろう」と思っていました。しかし、今回67歳時から2週間に1度の割合で、3年間プラセンタのツボ注射を続けられ、肩と首のツボの硬結(こうけつ:柔らかい組織が、炎症やうっ血、充血などで硬くなっている部分)が消えた患者さんの症例を報告させていただきます。

A 氏

男性 70代



この患者さんは、私が、2015年5月24日に第17回胎盤臨床医学会総会で「プラセンタツボ注射の眼科治療への応用」という演題で発表させていただいた症例の中のおひとりです。(くまがい眼科通信第11号・掲載)

緑内障視野障害の進行が早いため、通常の緑内障治療(点眼・内服など)に加えて、平成27年1月19日から眼の周囲と肩・首にプラセンタのツボ注射を始めたところ、半年間のうちに視野が改善してきたという驚きの結果だったのです。学会発表後も2週間に一度の注射は続けられ、現在90回の注射を行っています。当初、-4.23だった右眼のMD値(緑内障視野の進行度を表す指標)が8ヶ月後(9/14)には-1.01にまで改善し、現在はさらに-0.78となっています。左眼も同時に改善傾向です。肩こりについては、注射開始後36回目となる1年半後には、「肩井・天柱のツボの硬結がわかりにくくなっている」と記録していましたが、現在は硬結を触れないため、ツボを探すのが難しいという嬉しい悲鳴です。A氏は、緑内障の治療のために、プラセンタのツボ注射を始めた方ですが、思いもよらず、肩こりが消失するという予期せぬ効果を得られました。肩こりが改善したことが緑内障の改善に繋がっていたのか?は、一例では断定できませんので、今後も例数を増やして検討したいと思っています。

図A 使用したツボの名称

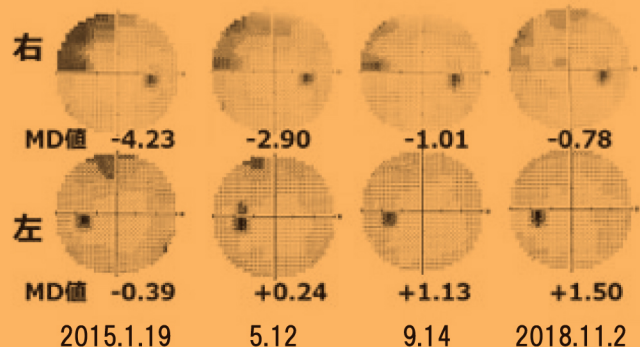
・陽白
 攢竹 糸竹空
 晴明 瞳子膠
 四白

眼周囲のツボ
6カ所



肩・頸のツボ3カ所

図B 視野の改善

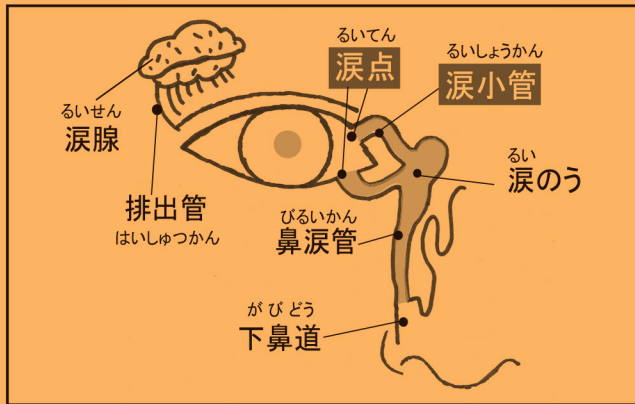


目からうろこ



ドライアイの治療法・液体コラーゲン治療

前号で「ドライアイ」の新しい考え方をお伝えしましたが、目の表面の涙を安定させる方法として、涙の排出経路をふさぐ治療が行われています。一つは涙点をシリコン製のプラグでふさぐ治療「涙点プラグ」、もう一つは涙小管を液体コラーゲンでせき止める「液体コラーゲン治療（商品名：キープティア）」です。どちらも目を乾燥から守り、ドライアイによる目の不快感を軽減し症状を改善します。



涙点・涙小管ってどこですか？

涙点は、目頭の上、上まぶたと下まぶたの内側にあります。涙は涙腺で作られ、まばたきによって目の表面全体を潤して乾燥から守ります。その後、涙は、涙点から吸い込まれて上下の涙小管を通り、涙のうに溜められ、鼻涙管を通過して下鼻道という鼻腔内に排出されます。（左図参照）

液体コラーゲンとは？

低温では液体ですが、注入後15分くらいで、体温によって柔らかいゼリー状になって涙小管をふさぎます。周辺組織への刺激や異物感もほとんどありません。コラーゲンでできているため、時間がたつにつれて体内で分解され、2~3ヶ月で自然に排出されます。点眼薬だけでは改善しない方におすすめしたい治療です。

保険適用の治療です

健康保険3割負担の場合

- 片目：約3300円（手技料込み）
- 両目：約4600円（手技料込み）

お気軽にご相談ください。

当院では、液体コラーゲン治療を行います

1

点眼麻酔を行います

2

涙小管に液体コラーゲンを注入します

3

目を閉じて約10分間液体コラーゲンが固まるのを待ちます
目の周りを触ったり、まばたきをしないようご注意ください

出典：高研「キープティア」パンフレットより転載・改変

くまがい眼科インフォメーション

くまがい眼科/ホームページアドレス
<http://kumagai-ganka.com/>



診療時間 午前9:30~午後1:00 午後3:00~午後6:30

	月	火	水	木	金	土	日・祝	臨時休診のお知らせ
午前	○	○	休診	○	○	○	休診	ホームページをご覧ください
午後	○	○	休診	○	○	休診	休診	年末年始の休診

☎ 03-3910-2472

〒170-0003 東京都豊島区駒込6-26-16 サカガビル2F

12月30日
↓
1月6日

新年は1月7日(月)から

交通機関



東京メロをご利用の場合
 ■ 南北線・駒込駅より徒歩10分
 ■ 南北線・西ヶ原駅より徒歩10分

JRをご利用の場合
 ■ JR山手線・駒込駅より徒歩10分
 ■ JR京浜東北線・上中里駅より徒歩10分

バスをご利用の場合
 ■ 茶51路線(駒込駅南口→お茶の水駅前・秋葉原駅前)駒込駅下車徒歩10分

車をご利用の場合
 ■ 近隣の有料駐車場をご利用ください。(多数あり)

お願い

散瞳検査を行う可能性がある場合は、お車での来院を、お控えください。